

ローカルSDGsのデザイン

～ 地域循環共生圏のつくり方 ～



いま知るべきSDGs。ローカル×ビジネス×ソーシャル

環境省では、平成30年4月に閣議決定された第五次環境基本計画において、複雑化する環境・経済・社会の課題を踏まえ、複数の課題の統合的な解決というSDGsの考え方も活用した「地域循環共生圏」を提唱しました。本シンポジウムでは、各地域や企業で取り組まれている「地域循環共生圏」の先進的な事例をご紹介するとともに、地域循環共生圏のデザインのあり方や具現化の方法についての議論を行います。

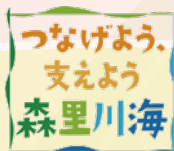
2020
9/24
15:00～18:00

参加無料

企業主体で実践する
地域循環共生圏のつくり方

●オンラインシンポジウム
※詳細は裏面をご参照ください。

「地域循環共生圏」とは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方で、地域でのSDGsの実践(ローカルSDGs)を目指すものです。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

2020
9/24 (木)

15:00~18:00

企業主体で実践する 地域循環共生圏のつくり方

基盤事業:環境ビジネスの振興方策検討事業

日時:令和2年9月24日(木) 15:00~18:00

場所:オンライン開催 ※参加の手順を別途ご案内いたします

主催:環境省

共催:事業構想大学院大学、(一社)the Organic、城南信用金庫

参加費:無料

定員:500名

プログラム

- **開会挨拶:松田尚之**(環境省大臣官房環境計画課長)
- **地域循環共生圏ビジネスの先進事例とその成功要因について**
中島恵理(環境省大臣官房環境計画課環境経済政策調査室長)
- **食と農林水産業のサステナビリティ**
久保牧衣子(農林水産省大臣官房環境政策室長)
- **話題提供**
 - i) **MONET Technologies株式会社**
「MONET Technologiesにおける地域と連携した取り組み」
 - ii) **株式会社 グラノ24K** 「ぶどうの樹のこれまでとこれから」
 - iii) **小松マテーレ株式会社** 「持続可能な社会づくり挑む。小松マテーレの事例」
 - iv) **横浜市** 「横濱が創発するウイズコロナ時代のサーキュラーエコノミー」
- **パネルディスカッション**
テーマ:「持続可能な地域循環共生圏ビジネスの創造に向けて、企業として果たせる役割、企業に期待すること」
コーディネーター
中島恵理(環境省大臣官房環境計画課環境経済政策調査室長)
パネリスト
小原壮太郎(一般社団法人 the Organic 代表理事)
川本恭治(城南信用金庫 理事長)
白田範史(事業構想大学院大学 事業構想研究所SDGs総研 主任研究員)
八木裕之(横浜国立大学 国際社会科学研究院 教授)
- **閉会挨拶:佐々木真二郎**(環境省大臣官房環境計画課企画調査室長)
※閉会后30分~60分程度、登壇企業および参加者同士による情報交換の場を予定。

お申し込み お問い合わせ先

【申し込み方法】

・専用フォームにより、下記4点をご記入ください。

申込専用フォーム:https://www.e-toroku.jp/ticket/user/form/index?form_id=localsdgs202009

ア)お名前(フリガナ)

イ)電話番号

ウ)電子メールアドレス

エ)ご所属

※スマホをご利用の方は右記

QRコードから専用フォーム

へアクセスするのが便利です。



【申込期日】令和2年9月17日(木) ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

【お問合せ】

・セミナーの内容に関するお問い合わせ

シンポジウム事務局/株式会社野村総合研究所 グローバルインフラコンサルティング部 向井・由藤

E-mail:localsdgs2020@nri.co.jp

・Web会議ツール Zoomに関するお問い合わせ

株式会社イベント・レンジャーズ

E-mail:localsdgs202009@event-rangers.jp